

健やかに生き、安らかな最期を

Living Will

リビング・ウィル

2016年
7月発行

No. 162

じたばたしない。
生きてきた果ての
答えとして
今の私の人生がある。

澤地久枝

ノンフィクション作家

インタビュー

Living Will No. 162 2016年7月発行

発行 一般財団法人日本尊厳死協会

編集 協会会報編集部

デザイン FROG KING STUDIO

印刷 JP ビズメール株式会社

- 新年度事業計画決まる
- 昨年度「医療相談」結果
- 韓国にも尊厳死法



出版案内

日本尊厳死協会が会員の皆様にお勧めする必読の書。好評発売中です。

新・私が決める尊厳死 「不治かつ末期」の具体的提案

編著・発行 日本尊厳死協会 発売 中日新聞社



人生の最期で迷わないために 尊厳死の「不治かつ末期」

専門医が病態ごとに「不治かつ末期」を分かりやすく説明しています。あなたの「?」に答えがあります。

- がんの末期 人工的な栄養・水分の補給は、かえって苦しみを増す?
- 持続的植物状態 延命措置の事前意思表示がない場合、医師や家族はどうしたら?
- 腎不全 「余命」宣告後に、医師から透析療法を勧められたら?
- 救急医療 日本救急医学会が示す「終末期」の判断とは?
- 認知症 「不治かつ末期」をどう考える、延命措置は?
- 老衰 天寿を全うする「老衰死」。平穏な死を妨げるものは何か?

自分の終末期にどのような医療を望むのか、望まないのか。医師たちは「具体的な意思表示が大切」と訴えています。

モルヒネは鎮痛薬の王者 あなたの痛みはとれる

編著 日本尊厳死協会 発行 中日新聞社

医療用麻薬のモルヒネ 適正使用で「痛み」はとれる

医療用麻薬を適切に使用した緩和医療は会員の願いです。

●激痛から解放された

「痛みが取れ、夜よく眠れて、食欲も出てきた。夢のようです」——モルヒネの投与で激痛から解放された患者の喜びの声です。

●誤解されているモルヒネ

モルヒネの「中毒になり、死期を早める」「がん末期にしか使えない」といった誤解は、世界の医学界が否定しています。適正に使用すれば「鎮痛薬の王者」なのです。

●がん以外の痛みにも効果

帯状疱疹後神経痛、ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症による脊椎の圧迫骨折、バージャー病、閉そく性動脈硬化症など、がん以外の痛みにも効果があります。

●専門医がアドバイス

執筆者の1人、加藤佳子医師は、「痛みは本人にしか分からない。我慢しないで、医師に『痛みを取ってください』と言いましょう」と呼びかけています。





澤地久枝さんは、『妻たちの

二・二六事件』でデビューし、綿密な調査と取材に基づくノンフィクションを次々と発表してきた。重い心臓疾患をかかえながら85歳の今も現役の澤地さんは、私たち尊厳死協会の仲間でもある。一人暮らしをしている東京・恵比寿の自宅を訪問した。

1992年、62歳の時に尊厳死協会に入られていますね。

リビング・ウイルのことは向田邦子さんと話をしていました。お互いに女のひとり暮らしですから、もしもの時に遺された家族が混乱しないようにしたい、病気でも事故でもそうですが、もう手の付けられないようなことになつたら無理に命を延ばしてもらう必要はないと思ったわけです。

向田さんから「あなたの葬儀の葬儀委員長は私がやるわ」と言われたのを覚えています。私の心臓病はそれほど悪かつたんですね。向田さんは台湾の航空機事故で先に亡くなられてしまいました。

interview

構成／編集部 写真／八重櫻信之

澤地久枝さん

85歳まで生きるとは人の命は強いと思う

3度も心臓手術をされたそうですが。

最初の手術は28歳、「婦人公論」の編集者の時でした。印刷所に出張校正に行って、最後に松本清張さんの原稿をもらつて帰つてきて、印刷所の構内で失神して倒れました。ひどい心臓喘息が起きて息もつけない状態でした。

(心臓外科の権威)榎原仔先生とご縁があり、僧帽弁狭窄症と診断されました。子供のころに高い熱を出すと、何人かに1人がこの病

ノンフィクション作家

「言わないでごめんなさい。もしものことがあっても、後の家族のことは私が責任を持ちますから」と約束したんです。だから心臓の手術がどんなに辛くても、私は死ぬわけにはいかなかつたんです。

70代はまだ若い80代はやはり特別です

手術は非常に長い時間がかかりました。当時は、会社を辞めて、『戦争と人間』を執筆中の五味川純平さんの助手をしていたので、五味川さんも見えていて、「これはだめかも」と思つたようです。

その後は、ドキュメンタリー作家として大活躍されています。

3度目は64歳です。僧帽弁を切り取つて人工弁に置換する手術を受けました。

母は私の最初の本『妻たちの二・二六事件』(72年刊)と入れ替わるように脳卒中で亡くなつていしたものですから、もう誰かに責任を負わなくていいんです。「今度は助からない」とも思つていました。

その手術が決まつていたのに、

3度も心臓手術をされたそうですが。

最初の手術は28歳、「婦人公論」の編集者の時でした。印刷所に出張校正に行って、最後に松本清張さんの原稿をもらつて帰つてきて、印刷所の構内で失神して倒れました。ひどい心臓喘息が起きて息もつけない状態でした。

(心臓外科の権威)榎原仔先生とご縁があり、僧帽弁狭窄症と診断されました。子供のころに高い熱を出すと、何人かに1人がこの病

出演の話が来て、同行する通訳にだけ内緒で明かして、どうしても行きたかったロシアに行きました。

帰国したあと、3度目の手術から生きて還った私は、(知人の)

ドウス教授から「これから何をしますか」と言われた時に、アメリカの大学に行つて勉強したいと言つたんです。自分の人生でまだやつたことのないことがある。64歳でそう思つたことが面白いと思ひます。人生そこからやり直しと思つていたんでしょう。

スタンフォード大学では、「訪問研究員」としてゼミにも出ました。70日間の留学生活は実に生きがいがありました。

そして、いま80代を迎えられました。

9月が来ると86歳です。70代はまだ若いと思います。80代は人生の中でやはり特別なものですね。体も弱つてくるし、疲れ方が違う。80代になつたら、がんでも何でもでてきて不思議はないんです。

私は自分が変わったと思います。かつてはあまり感動しなかつたものに出会つても、心から感動します。散歩に出て書店で『幼い子は微笑む』という絵本を買ったんです。長田弘さんの詩で、いせひでこさんの絵もいいんです。見終えた時に、本当に満たされた気持ちがしました。慌ただしく生きている時には振り向かなかつたかもしれません。ほうがいいと思うわ。

きつと最期は予兆がその時は慌てずに
夜、寝る時に、私はすいぶん恵まれているなと思うのです。誰かに戦争について意見を求められたら、「私は戦争に反対です」と言います。そういう姿勢は20代から変わっていない。いくら大きな声で「安倍内閣反対」と言つても誰も止めにかかる人はいません。私は本当に自由だなあと思います。

きつと最期は予兆みたいなものが出てきて辛くなるのでしょうか。でも、その時は慌てないで、お医者さんなんか呼ばないで、じつとしていればいいと思つています。私の理想は、病院には行かないで、我が家で死ぬという考え方です。自分が死んだ後で、ちょっとどこか空の辺に戻ってきて、「やっぱりうまくいった」とか、見られるといいんですけど(笑)。私が死ぬ話をすると友達みんなが「やめてくれ」と言います。で



さわち・ひさえ

1930年(昭和5年)、東京都生まれ。旧満州で敗戦。46年に帰国。早稲田大学第二文学部卒。『婦人公論』編集者、作家・五味川純氏の資料助手を経てノンフィクション作家に。『妻たちの二・二六事件』『密約』『火はわが胸中にあり』『滄海よ眠れ』『記録ミッショングループ』など著書多数。「九条の会」の呼びかけ人。

生活が自分の力で営まれている。誰かの助けをもらつてではなく、自分の意志を通してここまで生きてているのは、本当に幸せなことだと思うんです。

生きてきた果ての答えとして今自分の人生があるわけです。

そう言い切れる人生は羨ましい限りです。

85歳までこれだけの手術をやりながら生きているということは、やはり人の命は強いと思います。でも、命はいつ終わるか分からなきつと最期は予兆みたいなものが出てきて辛くなるのでしょうか。

ながら生きているということは、

やはり人の命は強いと思います。

でも、命はいつ終わるか分から

ないほうがいいと思うわ。

きつと最期は予兆みたいなものが出てきて辛くなるのでしょうか。

でも、その時は慌てないで、お医者さんなんか呼ばないで、じつとしていればいいと思つています。

私の理想は、病院には行かないで、

我が家で死ぬという考え方です。

自分が死んだ後で、ちょっとどこか空の辺に戻ってきて、「やっぱりうまくいった」とか、見られ

るといいんですけど(笑)。

私が死ぬ話をすると友達みんなが「やめてくれ」と言います。で

私は絶望はしない 希望をもつて生きる

1942年6月のミッドウェー海戦で日米両方の戦死者を調べる仕事をやり、その中で父親がミッドウェーで戦死し、その父の死後に生まれた子供がベトナム戦争で死んだケースにいきあたりました。

そういう例があつてつくづく思つたのは、日本は戦後、1人の戦死者も出でていないということです。これは大変なことだと思うんです。日本は戦死ゼロだと胸を張つて言ふ太さんにお願いしました。

だから、向田さんが亡くなつた後、公証人役場で遺言書を作成して、手紙などを「一切焼却」としておいてよかつたと思いました。私個人にとってはそれ意味があり、自分の手では始末できませんから。いまはどうなお仕事をされてい

るのですか。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

若者の応援団として 生きている限りは元気に

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



鳥越俊太郎さんから「何かしなければ」という電話があり、「みんながひとつ的意思をもつていることを発表したらどうかしら」と言ったところ、その趣意書を私が作ることになりました。結局、あの一行になりました。字は俳人の金子兜太さんにお願いしました。

昨年7月18日に始めて、11月からは毎月3日の午後

生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)



生きている限りは元気でいる、ということです。

書き下ろしを抱えています。で

11時に国会正門前でポスター

インタビューを終えて

2階の仕事場で話を聞きました。「この急な階段の上がり降りが億劫です。一段ずつ勘定して上がっています」と言いますが、大島紬の着物にインドネシアの古布で仕立てた帯をしめた姿に一分の隙もありません。大正から昭和を舞台とした無名の人物を取り上げる次作が楽しみです。

写真の、澤地さんが手にしているのはスマトラで買った中国・元時代の壺です。大事なものも少しずつ友人らに譲っているとか。

(会報編集部・清水勝彦)

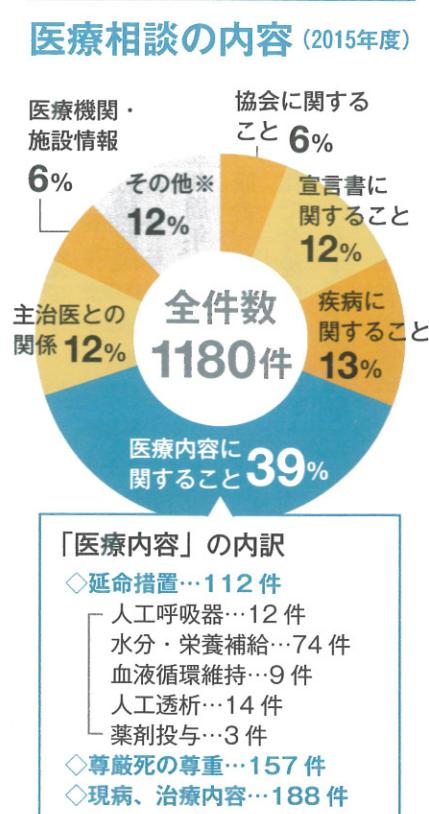
2015年度「医療相談」千件超す

「主治医との関係」で悩み1割強も
地域相談窓口、周りの人につなげたい

協会が行っている電話「医療相談」の2015年度相談総件数は1180件と年間で初めて千件を超えた。医療についてわからぬことや悩みをお聞きし、相談者に必要情報を提供して支援する活動が広まっています。

相談件数は500件と前年度の2割増。1件の電話で複数の問題を抱えるケースもあり、相談内容の項目別総数は前年度(965件)を大きく上回りました。

相談内容の項目(表)では「医



これは社会問題にまでなった「胃ろう」の問題が病院、介護施設内でも相談しやすい体制ができたからと思われます。他の相談が少なくなっています。

「医療内容」に関する問題が病院、介護施設内でも相談しやすい体制ができましたからと思われます。他の相談が少なくなっています。

●透析は苦しいので、希望すれば止められるか。

●救急車を呼べば延命治療につながるのではないか。

●治療方針で迷っている。医師が家族に相談を求めるばかりで、医師と話ができない。

最近、終末期医療やリビングウイルが暮らしの話題になることが多くなりました。患者も医師に説明を求めるのが当たり前と考え、医療側も対応に心がけてきている印象を受けます。しかし、忙しい医療現場のなかでは遠慮もあるて依然として「医師との疎通に悩む」(116件)患者の戸惑いが相談内容の数字に表れています。

相談員は、話を聴きながら何に相談員は、指示や判断めいたことを言つたりすることは避けります。病気や看病を背負つた人がひとり悩み、孤立に陥ることがないようご利用ください。

療内容」457件(39%)が最多で「疾病」「宣言書」「その他」と続き、「主治医との関係」も134件(12%)と少なくありません。

多くの場合、電話から切羽詰まりた相談者の気持ちが伝わってきます。

●透析は苦しいので、希望すれば止められるか。

●救急車を呼べば延命治療につながるのではないか。

●治療方針で迷っている。医師が家族に相談を求めるばかりで、医師と話ができない。

最近、終末期医療やリビングウイルが暮らしの話題になることが多くなりました。患者も医師に説明を求めるのが当たり前と考え、医療側も対応に心がけてきている印象を受けます。しかし、忙しい医療現場のなかでは遠慮もあるて依然として「医師との疎通に悩む」(116件)患者の戸惑いが相談内容の数字に表れています。

相談員は、指示や判断めいたことを言つたりすることは避けります。病気や看病を背負つた人がひとり悩み、孤立に陥ることがないようご利用ください。

全国LW発行団体連絡協へ始動

～自治体、病院、医療団体が共通の場で「本人意思尊重の実現」をめざして

リビングウイル(LW)が病院、

市町村、医療関係団体から発行さ

れるようになつた。「LW時代」到

來の感があるが、これらLWがど

の地域、どの医療施設でも通用す

るシステムが整つていない。日本尊

厳死協会は「本人意思尊重の実現」

をめざして、全国LW発行団体連

絡協議会(仮称)の設立へ始動した。

協会は5月31日、都内の参議院議員会館で同連絡協議会の準備会を開いた。岩尾總一郎理事長、鈴木裕也副理事長のほか、LWを発行する長野県須坂市、宮崎市の担当者、厚労省在宅医療推進室の担当者が出席した。

各地で「表明書」相次ぐ

岩尾理事長は「協会が40年間積み上げてきたLWのノーハウが自治体や病院で活かされているのは喜ばしい。LWの重要性は増しており、協会がリードシップをもつて全国組織を立ち上げたい」と

日本尊厳死協会のLWは、活動

も尊重される汎用性を持っている。

しかし病院発行はその病院の受診

患者が対象であり、自治体発行はも



自民尊厳死検討PTで挨拶する山口座長(左)

りで「表明書」相次ぐ

【市民運動】日本尊厳死協会、満足死の会、LMD研究会。

【医療施設】国立長寿医療研究センター、聖路加国際病院、札幌・定山渓病院。

【公的団体】広島県地域医療福祉推協、全日本病院協会、長野県飯田医師会、佐賀県医師会。

【自治体】愛知県半田市、静岡県島田市、東京都狛江市、札幌市、滋賀県守山市。

以上はほんの一例で、近年は市販の「エンディングノート」にもセットされている。

日本尊厳死協会のLWは、活動実績からどの地域、病院であつても尊重される汎用性を持っている。

困っているのかを一緒に考えながら気持ちの整理ができ、ご本人が解決の糸口を見つけて、次の行動に移れるよう支援します。身の周囲に相談できる人、継続的に相談できる地域の窓口(病院内の「患者相談室」、地域ケア包括支援センターなど)につないでいるようにしています。

「医師の自殺介助」合法化の潮流 カナダの最新動向に関心集まる

世界大会オランダに参加して 理事長 岩尾總一郎

死の権利協会世界連合の世界大
会オランダが5月11日から4日間、
アムステルダムで開かれました。
加盟団体が活動報告や情報交換す
る場で、国や地域で起きている胎
動や潮流を肌で感じる機会となり
ました。



各国団体が集った世界大会オランダ

世界で最初に安楽死を合法化し
た(2002年)国だけに会場の
国際見本市会場の入り口には「安
樂死2016」の大看板。各国か
ら350人が参加しました。

総会では、カナダから「医師に
よる自殺介助(PAS)」合法化へ
のホットな報告があり、関心を集
めました。末期患者へのPASを
認めた連邦最高裁判決(昨年2月)
を受け、トルドー首相提出の合法
化法案が連邦議会で審議中です。
米国(5州で合法)以外に北米地
域への広がりが注目されています。

「自殺」の言葉に拒否感も

いま欧米で「尊厳死」というと
安樂死とPASを指します。安樂
死実施の海外ニュースが日本には
尊厳死と伝わり、混乱を招きました。
自己決定に基づく死は「尊厳

ある死」としてPAS合法化も進み、
カナダもその一例です。

尊厳死と安樂死を明確に区別す
るのは見過ごせません。一方、
PAS合法化潮流のなかでも新し
い悩みが生まれていることが大会
の議論でわかりました。

キリスト教文化との関わりでし
ょうか、「自殺」という言葉への
拒否感が強いというのです。
Suicide(自殺)という言
葉の代わりにDignicid
(尊厳ある死)という新語の提案
もあり、驚きました。用語の問題
はこれからも複雑な様相を見せて
きそうです。

異なる主張も自主性尊重で
22か国、50団体

死の権利協会 世界連合

終末期での自己決定権尊重を求めて1976年に結成。現在22か国50団体が加盟。岩尾總一郎理事長も理事(5人)を務める。

加盟団体で会員10万人を超すのは日本尊厳死協会とオランダ尊厳死協会だけ。ほとんどが会員千人前後だが、欧米では安樂死、PAS合法化を掲げて自国内で活発に活動する団体が多い。これに共鳴しない団体も互いの自主性を尊重してきた。

世界大会は2年ごとに開かれ、世界連合の主な活動。日本では協会主催で1976年(東京)、1992年(京都)、2004年(東京)の3回開かれている。



世界大会オランダの討議で

さて、オランダの話です。人口
1685万人のオランダでは全国
の医師(約5万6000人)の三分
の一がプライマリケアを中心
に担当家庭医。国民は近所の家庭医
に登録されてまず受診する医療保
険制度が確立されています。

家庭医は研修で「安樂死実施医
師」になります。政府報告書によ
ると、2014年は5281人が
法律に基づいて安樂死(PASを
含む)し、うち4678人(89%)
が家庭医によるものでした。国民
と家庭医との密接なかかわりが表
れています。

「ホスピス延命医療法」 韓国も尊厳死を法制化 アジアに広がる自己決定権

「無意味な延命治療、中断可能

尊厳死法で許容」(京郷新聞)

「尊厳ある死、患者が選択

2018年施行」(朝鮮日報)

韓国各紙は一斉に立法を歓迎す
る記事を掲載した。その熱気の醒
めやらぬソウルに4月末、同法成
立の「影の立役者」とされる人々
を訪ね、法の説明をお願いした。

同法は、事前延命医療意向書と
名付けたりビング・ウイル(LW)
の作成・登録の方法を定めた。19
歳以上の者が、延命医療の差し控
え・中止と、ホスピス緩和医療の
意思を表明することができる。

保健福祉省が書式を決めるLW
は、同省が指定する登録機関が受
け付け、登録・保管される。その
データは上部組織の国立延命医療
管理機関に集約され、各病院から
の照会に利用される。

病院や非営利団体が指定される
担当医と専門医1人が「数カ月
以内に死が迫っている末期患者」
を「臨終過程」から

登録機関では、LW作成の相談に
乗り、医学的な説明も行い、「作
成を支援する」役割もある。

LWのない患者が深刻な病態にな
った場合にも、意思を示す機会
が設けられた。それが延命医療計
画書の作成だ。

と診断した場合、患者
は医師に計画書の作成
を「要請」できる。

医師は、患者に病状
や延命医療の中止など

について説明し、そのうえで合意
された医療計画を書面にして、医
師と患者が署名する。

計画書には、もうひとつの狙
いがある。韓国ではまだ不十分なホ
スピス緩和医療を、患者が希望す
れば作成時点から始められること

イ・ユンソン

ソウル大学医学部教授(法医学)
国家生命倫理審議会の特別委
員長として3年前、法律の根
幹となる「勧告」をまとめて、法
案の方向性を決めた。



LWのひろば

団塊世代の真っ只中

内倉功 67歳 宮崎県

納得しての入会でした

清水茂雄 82歳 福島県

入会の「恩人」はいま・

川端ノリ子 82歳 神奈川県

9月3日で尊厳死協会に入つて27年を迎えます。大腸検査のために東京・築地のがんセンターに行きました。待合室は混み合い、待ち時間の長かったこと。その時、隣に居合わせた方が、協会のカードを見せてくれて、丁寧に説明してくださったのが「縁です」。

その方は、熱海近くの「ゆうゆうの里」(有料老人ホーム)を本宅として、東京の自宅をセカンドハウスに、コンサートや芝居見物の際に活用しているとのことで、生き生きと

輝いていらっしゃいました。

私は夫が病死したばかり、子供も居ません。どう生きるべきかと思案中の時でした。その方のように私も、

品格と気品、優雅さを心掛け、常に感謝と凛とした勇氣ある謙虚さを目指に、「精一杯」暮らしていくこう、そして尊厳死協会にお世話になろうと入会したわけです。

この27年間、病気の入退院は数知れず、持病は増える一方です。でも、「病」とは「仲良しこよし」、爽やかな笑顔で付き合おうと、脳トレやメール通りに励んでおります。協会のことを教えてくれたあの方が、「この投稿を読んで下さい」と……。

団塊の世代の真っ只中の私たちは、その数の多さゆえに医療と福祉で大きな局面を迎えてます。健康寿命を延ばす生活習慣を続けて、国民経済への負担を少しでも減らせるよう、考えたいものです。

散骨で「さようなら」

松根敦子 83歳 神奈川県

おじとまをいただきますと戸をしめて出てゆくやうにゆかぬなり生は

この短歌を知ったのは39年前。それ以前から人生の最期について深く

を医師に見せたが、医療の専門家との話し合いは結構困難だった。1か月後、転院を勧められ、自宅に近く「尊厳死」に理解ある病院を見つけて転院した。その病院では約2か月間、私(そして妻)の意思に沿った治療を続けてくれた。呼吸器は外されなかつたが、家族に看取られて苦痛なく安らかに86歳の最期を迎えることができた。

医師にこちらの考え方を十分伝えて話し合えば理解してもらえることを知ったことは、妻が身をもって教えてくれたことで感謝している。

妻を見送つて

小林料 88歳 東京都

63年間ともに生きた妻を昨年8月に見送った。認知症の進んだ妻は3年前の暮れ、理解のある施設に入り、私も月数回訪ねていた。

事故は突然起つた。朝食中、食べ物を詰まらせ意識を失い、施設から突然の「パイプを入れますか」の電話に、考える余裕もなく「お願ひします」と言って、急行した。妻は病院の救急病棟で人工呼吸器に依存する状態になっていた。

私は妻と私の「尊厳死の宣言書」

編集部より

●投稿の募集

テーマは「私の入会動機」「一人暮らしの知恵」「会報を読んで」のいずれか。800字以内で。手紙またはファックス(03-3818-6562)、メール(info@songenshi-kyokai.com)で。

●写真の募集

10月号に相応しい秋の写真を。数年前の撮影も可。データをメール送信(アドレスは同上)、またはプリントを郵送してください。選者は日本写真家協会の八重樫信之氏です。いずれも、協会本部会報編集部宛に、「ひろば投稿」と明記のこと。締め切りは8月15日です。



北海道・旭川の夏の訪れば、
ジャガイモ畑に咲いた花々が
教えてくれる

撮影/柴田えみ子さん(北海道支部)

八重樫先生のここがポイント

起伏のある畑の風景を、
望遠で切り取っています。
真っ盛りのジャガイモの花が、
まるで滝の流れのように見えます。

考へ始めていました。私がこの世の戸を閉めて出ていくのは、どんな姿なのだろうか、などと。
今年、40周年を迎えた我が協会に出会つて39年。協会誕生の3年目に、両親と夫と私の4人が入会しました。まだ「殺人鬼集団」とまで言われる時代でしたが、医療の止まることのない進歩の中で、人の命は本人以外、誰も決めるることはできないと考え、

考へ始めていました。私がこの世の戸を閉めて出ていくのは、どんな姿なのだろうか、などと。
今年、40周年を迎えた我が協会に出会つて39年。協会誕生の3年目に、両親と夫と私の4人が入会しました。まだ「殺人鬼集団」とまで言われる時代でしたが、医療の止まることのない進歩の中で、人の命は本人以外、誰も決めるることはできないと考え、

父は35年前に腫瘍がんのため、3か月の入院であつけなく他界。親しくしていた同級の従弟は6年前に亡くなりました。肝臓病で4年ほど闘病していました。また、同じ集落で育った同級生6人のうち従兄を含めて4人が、この15年間に他界していました。

いざれ我が身にもと死を現実として考へる時、父と従弟の終末の姿を見て、これはもう尊厳死を選択する以外はないと思ひ、入会しました。今、私は田舎で非常勤の一人暮らし。一人息子は首都圏に家を建て、家族4人で生活している。イノシシやヒヨドリの悪さに付き合いつつ晴耕雨読、山歩きや旅行など気ままな生活を満喫しています。豊かな自然に囲まれた今の住まいで終末を迎えるつもりです。

その後、親しい友人が家族ぐるみで入会してくれました。ところが、納得したうえで入会することができて、本当によかったです。入会して8年ほどになりますが、自分自身が己決定として生涯をまつとうしたいという願いがありました。入会して8年ほどになりました。私は日々これから、延命治療を選ぶのではなく、尊厳死を自分で決めて生きることができます。

その友人は昨年6月、急死してしまいました。たつた5日間の旅立ちでした。生前の本人の意思で葬儀はせず、「お別れ会」で仲間たちが一言ずつ告げて別れとなりました。彼らがいて、折に触れて話を聞かせてくれました。その友人は5月間の旅立ちで入会してくれました。ところが、8年ほどになりますが、自分自身が己決定として生涯をまつとうしたいという願いがありました。入会して8年ほどになりました。私は日々これから、延命治療を選ぶのではなく、尊厳死を自分で決めて生きることができます。

その友人は昨年6月、急死してしまいました。たつた5日間の旅立ちでした。生前の本人の意思で葬儀はせず、「お別れ会」で仲間たちが一言ずつ告げて別れとなりました。彼ら

がいて、折に触れて話を聞かせてくれました。その友人は5月間の旅立ちで入会してくれました。ところが、8年ほどになりますが、自分自身が己決定として生涯をまつとうしたいという願いがありました。入会して8年ほどになりました。私は日々これから、延命治療を選ぶのではなく、尊厳死を自分で決めて生きることができます。

九州支部

☎ 092-724-6008

協会発足40周年記念 公開講演会

日程〇7月16日(土)午後1時半～4時
会場〇天神ビル11階10号室

(福岡市中央区天神2丁目)

あいさつ〇松股孝・支部ふくおか会長

特別講演

「日本の安楽死から 尊厳死への歴史」

講師〇大田満夫氏
(国立九州がんセンター
名誉院長、元協会副理事長)



招請講演 「仏教が教える、死んで往く ことの物語」

講師〇田畠正久氏
(医療法人仁和会
佐藤第二病院院長、
龍谷大学大学院
実践真宗学研究科教授)



定員〇200人(一般の方もどうぞ、先着、無料)

出前講座を開きましょう!

出前講座とは

支部理事が講師となり、用意していただいた場所に出向いて「リビング・ウイルとは何か」等をやさしく説明する、1時間半ほどのミニ勉強会です。疑問や質問にもお答えします。非会員だけでなく、会員の皆様も理解を深める良い機会となります。

☑「出前先」はこんな場所

公民館や敬老会の催し、趣味の会、企業の勉強会など様々です。場所は問いませんが、会場費は負担していただきます。

☑「出前先」をご紹介ください

昨年度は全国で計117回開かれ、5000人が参加しました。仲間を増やしたいですね。お問い合わせは支部まで。

中国地方支部

☎ 082-244-2039

支部公開講演会

講演「“上手に生きて、 軽(か~る)くあっちへ”」

日程〇9月25日(日)午後1時半～3時半

会場〇広島市民病院の10階講堂

講師〇松本祐二氏

(協会LW協力医師、
支部理事)

一般の方もどうぞお出かけください



LWよろずサロンin広島市

終活、LW等について語り合いましょう。

日程〇7月17日(日)午後2時半～4時

会場〇サテライトキャンパス広島研修室
(広島市の県民文化センター内)

四国支部

☎ 089-993-6356

懇話会(西条市)

日程〇9月8日(木)午前10時～

会場〇愛媛県西条市産業支援センター1階

講演「延命治療について」

講師〇上田暢男(副支部長、元愛媛県立中央病院院長)

主催〇エンディング支援センターえひめ

(代表:黒川理恵子氏)

問い合わせは090-1174-9637

支部サロン

7月1日(金) 夏を乗りきる私の健康法

9月2日(金) 在宅医療について知っておきたいこと

10月7日(金) 最後の晚餐は何

松山市の支部事務所で、午後1時半～3時半

趣味あれこれ会

絵手紙・俳句等楽しんでいます。

日程〇7月15日、9月16日、10月21日

午後1時半～3時半

会場〇松山市の支部事務所

関西支部

☎ 06-4866-6365

支部講演会

日程〇11月6日(日)午後1時半～午後4時50分

会場〇大津市

「ピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター)」

講演「良い人生だったと思える生き方」

講師〇千日回峰行満行 大阿闍梨 光永覚道師
一詳しく述べ次号で。ご期待下さい

第10回サロン交流会

日程〇7月23日(土)午後1時～午後3時

会場〇関西支部事務所

テーマ「終末期の法律諸問題」

担当〇西村渡・支部理事(弁護士)

定員〇15人(要予約 関西支部まで)

テーマに沿って担当者が30分話した後、自由に話し合いをします。

定例サロンへのお誘い

日程〇毎週火曜日午後1時～4時

7月5、12、19、26日

8月2、9、23、30日

9月6、13、20、27日

会場〇関西支部事務所(新大阪駅から歩5分、御堂筋に出ると屋上にLIXILのオレンジ色の看板の見えるビルの7Fです)

協会、終末期、リビング・ウイル、おひとりさまの生き方のことなど、支部理事がお待ちしています。予約不要ですのでお気軽に。

東海支部

☎ 052-481-6501

新しく地域サロンを開きます

日程〇7月11日(月)午後1時半～3時

9月12日(月)午後1時半～3時

会場〇青木記念ホール

(名古屋市中村区中村中町3-30、地下鉄中村公園駅徒歩5分)

尊厳死、終末期医療、在宅介護などで感じたことや疑問、不安に思っていることを、お茶を飲みながら一緒に学びませんか。一般の方の参加も歓迎です。参加希望の方は支部へ連絡のうえお越し下さい。

関東甲信越支部

☎ 03-5689-2100

公開講演会in長野

講演「終活 安らかな看取り」

日程〇7月14日(木)午後2時～4時

会場〇長野市のホクト文化ホール

小ホール(JR長野駅より徒歩12分)

講師〇鈴木裕也・副理事長

(医師、元埼玉社会保険病院名誉院長)

予約不要、どなたでもどうぞ。

※長野県在住で当日お手伝いできる方は支部までご連絡下さい。

地域サロンのご案内

予約不要で一般の方もどうぞ

サロン相模原

日程〇7月5日(火)午後2時～4時

会場〇相模原市民会館(JR横浜線相模原駅南口下車、バス便あり、相模原市役所近く)

サロン加須

日程〇7月16日(土)午後1時半～3時半

会場〇加須ひばりの里(埼玉県加須市の東武日光線柳生駅下車 徒歩30分)

サロン茅ヶ崎

日程〇9月13日(火)午後2時～4時

会場〇茅ヶ崎市民会館(JR東海道線茅ヶ崎駅北口下車徒歩8分、茅ヶ崎市役所の隣)

サロンin本郷

日程〇7月8日、7月22日、9月9日、9月23日、10月14日、10月28日

いずれも金曜日午後1時半～3時

会場〇支部事務所(本部事務局内=地下鉄丸ノ内線、大江戸線「本郷三丁目」駅すぐ)

要予約ですので支部まで。

「小金井雑学大学」講演

日程〇9月4日(日)午後2時～4時

会場〇小金井市の小金井商工会館

(JR中央線武蔵小金井駅南口下車徒歩5分)

講師〇吉成健吉(支部事務局長)

入場無料ですが資料代100円。一般の方も歓迎です
問い合わせは080-5645-1477(田中留美子)

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
篠原医院	内科	篠原慶希	兵庫県小野市粟生町1778-2	0794-65-2810
外科胃腸科いとう医院	外科 胃腸科	伊藤利夫	広島県広島市東区牛田中1-11-12	082-227-0900
内科いこいの家	内科	田嶋利恵	岡山県倉敷市児島小川9-1-46	086-474-3320
島根大学医学部附属病院	呼吸器科 化学療法内科	磯部 威	島根県出雲市塩治町89-1	0853-20-2580
長崎大学病院	麻酔科	原 哲也	長崎県長崎市坂本1-7-1	095-819-7200
ホーム・ホスピス 中尾クリニック	外科 緩和ケア科	中尾勘一郎	長崎県西彼杵郡長与町高田郷2202-1	095-801-5511
ゆきなり・クリニック	緩和ケア内科 ペインクリニック内科	行成壽家	長崎県長崎市新大工町5-7 シーポルトタウン2F	095-823-3330
白髭内科医院	内科	白髭 豊	長崎県長崎市片淵1-13-28	095-822-5620
出口外科医院	外科	出口雅浩	長崎県長崎市大浦町9-11	095-824-7890

勤務先変更▶	医師名(敬称略)	医療施設名	診療科	施設所在地	電話
	野崎 明	京都医療センター	腫瘍内科	京都府京都市伏見区深草向畠町1-1	075-641-9161

地域のLW受容協力医師を協会HPで掲載 7月、中国地方支部から順次

「尊厳死の宣言書」の趣旨を理解し、会員の力になりたいと表明された「LW受容協力医師」名の協会ホームページ(HP)上の掲載が、7月から中国地方支部を手始めにスタートします。準備が整い次第、支部ごとに地域の受容医師名簿を順次掲載する予定です。

協会本部ホームページ(<http://www.songenshi-kyokai.com>)にアクセスし、上部メニュー「支部」から各支部ページに入り、「受容協力医師」欄をクリックします。会員への公開なので閲覧には会員専用の認証パスワードが必要です。共通PWは「jsdd」です。

ご寄付ありがとうございました(敬称略)

我妻幸雄	2,000	崎田 達	4,000	中島明・淳子	2,000	吉田敦子	1,000
秋山 孝	2,000	桜井佑一・琴子	1,000	西川 明	3,000	米村宣蔵	14,500
阿部隆明	3,000	佐藤キクエ	10,000	西村 繁	10,000	和佐千代子	2,000
安藤政人	4,000	志立栄子	10,000	西村日貞子	1,000	和田多恵子	2,460
石田榮一	1,000	白井保幸	10,800	長谷川幸雄	2,000	匿名	20,000
磯野栄子	10,000	菅原慶子	10,000	濱本宣敷	4,000	匿名	2,000
伊藤多枝子	1,000	菅原慶夫・チヤ子	10,000	林 喜久江	10,000	匿名	1,000,000
稻生行秀・諏訪子	10,000	杉田茂子	10,000	林六男・範子	4,000	【北海道支部扱い】	
岩村巖・麗子	3,000	鈴木良雄	2,800	原 利子	5,000	楊 瞳建	5,080
宇恵英次	2,000	須藤和子	5,000	平澤鉄美・孝子	5,000	【東北支部扱い】	
浦田 幸	10,000	高田正子	2,800	平野豊・恭子	5,000	佐藤満江	2,000
榎本繁雄・明美	2,000	高木精一	10,000	藤原よね子	10,000	佐藤 誠	2,000
大内秀浩	1,000	高木久江	10,000	堀之内林造・行子	2,000	【東海支部扱い】	
大西ヒサ	5,000	高尾幸江	10,000	松澤和枝	4,000	迫田タツ子	5,000
岡本庄司	10,000	高柳美登里	5,000	丸山榮子	24,800	【北陸支部扱い】	
奥村浩子	14,808	竹井幸江	5,000	峯崎貴子	20,000	野桑 昭	10,000
奥村光代	10,000	竹内敬之助	10,000	目良ソヨ	10,000	【四国支部扱い】	
金森喜代	2,000	田中順一郎	5,000	森川フミコ	3,000	河野郁子	3,000
金子彌太郎	50,000	田中博子	30,000	森谷ヒデ	2,000	池田京子	10,000
亀山巳さ	10,000	田中英明・光子	20,000	両角みち子	1,700	大政啓子	10,000
川合晃・靖子	1,000	田中政次郎	3,000	茂呂一男・富子	1,000	越智好子	100,000
河内光子	3,000	田島照子	3,000	山口 隆	3,000	【九州支部扱い】	
岸本君子	3,000	戸谷富美	2,000	山口信子	10,000	片岡久子	10,000
北尾哲郎	50,000	中村菊枝	10,000	山崎武久・雅子	2,000		
坂本陽子	2,000	中島晋吾	2,460	山田高子	5,000		

ご寄付は、現金書留、あるいは郵便振替口座「東京00130-6-16468」をご利用ください。

いずれの場合も、「お名前」「会員番号」と送金の目的が「寄付」であることをお書き添えください。

皆さまのご協力、ご支援をお待ちしております。

LWの受容協力医師

第84報

2016年3月～5月の間に新しく登録なさった医師の方々です。

[会は会員医師]

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
秋田往診クリニック	内科 外科	市原利晃	秋田県秋田市広面字川崎125-1	018-834-1048
大沢野クリニック	内科	安達康子	富山県富山市上二杉420-2	076-468-3300
大沢野クリニック	整形外科	高野 隆	富山県富山市上二杉420-2	076-468-3300
慈愛病院	内科 外科 腸門科 心療内科 緩和医療科	小林 中	東京都文京区本郷6-12-5	03-3812-7360
樹のはなクリニック	内科	奈良岡美恵子	東京都世田谷区太子堂2-26-2	03-5433-3388
さくら景星会 桜台病院	内科 整形外科	永島英幸	東京都練馬区豊玉南1-20-15	03-3993-7631
ホームメディカルクリニック	内科 外科	菊地 充	東京都練馬区高野台1-7-20-901	03-5923-6625
せいきょう診療所	内科	湯浅潤子	東京都杉並区松ノ木3-23-8	03-3313-7365
たんぽぽクリニック	内科	井上俊之	東京都武蔵野市吉祥寺北町3-5-8	0422-51-5143
聖フランシスコ会 国立聖林クリニック	外科 内科	中川一郎	東京都国立市西2-10-10 国立オリンピックプラザ101	042-580-6102
南平山の上クリニック	内科 外科 消化器内科 心療内科	八幡憲喜	東京都日野市南平8-4-26	042-599-7877
いしかわ内科医院	内科 循環器内科	石川俊一	東京都日野市豊田4-34-7 オーチャード1階	042-589-2244
日葵会 日横クリニック	内科	鈴木悦朗	神奈川県横浜市港北区日吉本町1-20-16	045-563-4115
篠原Kクリニック	泌尿器科 内科	児島真一	神奈川県横浜市港北区篠原町1103	045-439-6336
さくら風の村訪問診療所	内科 循環器内科	三嶋泰之	千葉県佐倉市山崎529-1	043-481-1710
仁愛会 ならしのファミリークリニック	総合診療科 在宅診療	長谷川 浩	千葉県習志野市実穂4-23-9	047-455-7880
ぼの診療所	在宅診療 緩和医療	金光直美	千葉県浦安市猫実3-17-21	047-702-9934
ききょう会 伊奈クリニック	在宅診療	高田稔和	埼玉県上尾市瓦葺1902-1	048-876-9927
白岡ファミリークリニック	内科 皮膚科	辺田哲郎	埼玉県白岡市小久喜200-1	0480-90-5590
菊川市家庭医療センター	家庭医療科	綱分信二	静岡県菊川市赤土1055-1	0537-73-2267
愛知県がんセンター 愛知病院	緩和ケア科	藤井恭子	愛知県岡崎市欠町字栗宿18	0564-21-6251
守上クリニック	内科	守上賢策	大阪府大阪市旭区生江1-9-18	06-6927-1666
目黒クリニック	泌尿器科 緩和ケア内科	目黒則男	大阪府大阪市東成区大今里西1-26-5-202	06-6977-3355
寛和クリニック	内科	諏訪 寛	大阪府大阪市阿倍野区昭和町2-18-24	06-6180-6603
ハートフリーやすらぎ 住吉診療所	内科	後岡晃一郎	大阪府大阪市住吉区帝塚山東5-8-3	06-6678-2511
ヤスダクリニック	脳神経外科	保田晃宏	大阪府羽曳野市野々上3-4-30	072-931-7777
希会 二見クリニック	内科	二見国彦	大阪府河内長野市あかしあ台1-8-16	0721-50-1555
幸心会 熊取ファミリークリニック	内科	鈴木一弘	大阪府泉南郡熊取町大久保中1-16-22	072-451-1655
とうじょうクリニック	内科 循環器科	東條 修	大阪府和泉市鶴山台1-24-6	0725-46-1510
とうじょうクリニック	内科 循環器科	東條周子	大阪府和泉市鶴山台1-24-6	0725-46-1510
梅田クリニック	呼吸器科 整形外科 ペインクリニック	梅田信一郎	大阪府和泉市伏屋町5-3-3	0725-57-1544
向原クリニック	整形外科 緩和ケア内科	向原進一	兵庫県神戸市西区大津和1-7-8-302	078-975-8760
高橋内科医院	内科 循環器内科	高橋雅彦	兵庫県洲本市宇原2243	0799-23-3556
さくらいクリニック	整形外科 内科 リウマチ科	桜井 隆	兵庫県尼崎市武庫元町1-25-14	06-6431-5555
西岡医院	内科 呼吸器内科 血液内科	西岡啓介	兵庫県西宮市桶之池町27-38	0798-74-4430
川崎医院	消化器科 外科	川崎史寛	兵庫県西宮市越水町6-7	0798-71-6236
おひさまクリニック西宮	緩和ケア内科 外科	福田俊一	兵庫県西宮市柳本町1-23-1F	079-875-6460
大野医院	内科 麻酔科	大野正博	兵庫県西宮市屋敷町6-3	0798-26-3640
たなかホームケアクリニック	リハビリテーション科	田中章太郎	兵庫県三田市けやき台1-10-1	079-565-9911
小嶋診療所	内科 消化器内科	小嶋志之	兵庫県姫路市形的形1250	079-254-0718

●本部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8

太陽館ビル501

TEL 03-3818-6563

FAX 03-3818-6562

メール

info@songenshi-kyokai.com

ホームページ

http://www.songenshi-kyokai.com

郵便振替口座

東京00130-6-16468

●北海道支部

〒060-0807 札幌市北区

北7条西2丁目6 37山京ビル801

TEL 011-736-0290

FAX 011-299-3186

●東北支部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町

1-12-39 旭開発第2ビル703号室

TEL 022-217-0081

FAX 022-217-0082

●関東甲信越支部

〒113-0033 東京都文京区

本郷2-27-8 太陽館ビル501

TEL 03-5689-2100

FAX 03-5689-2141

●東海支部

〒453-0832 名古屋市中村区

乾出町2-7 正和ビル2階

なかむら公園前法律事務所内

TEL 052-481-6501

FAX 052-486-7389

●北陸支部

〒920-0902 金沢市尾張町1-7-1

山崎法律事務所内

TEL 076-232-0900

FAX 076-232-0932

●関西支部

〒532-0003 大阪市淀川区

宮原4-1-46 新大阪北ビル702号

TEL 06-4866-6365

FAX 06-4866-6375

●中国地方支部

〒730-0024 広島市中区

西平塚町2-10

TEL 082-244-2039

FAX 082-244-2048

●四国支部

〒790-0067 松山市大手町1-8-16

二宮ビル3F B

TEL 089-993-6356

FAX 089-993-6357

●九州支部

〒810-0001 福岡市中央区

天神1-16-1 毎日福岡会館5階

TEL&FAX 092-724-6008

尊厳死の宣言書

(リビング・ウイル Living Will)

私は、私の傷病が不治であり、かつ死が迫っていたり、生命維持措置無しでは生存できない状態に陥った場合に備えて、私の家族、縁者ならびに私の医療に携わっている方々に次の要望を宣言いたします。

この宣言書は、私の精神が健全な状態にある時に書いたものであります。

したがって、私の精神が健全な状態にある時に私自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成しない限り有効であります。

●私の傷病が、現代の医学では不治の状態であり、既に死が迫っていると診断された場合は、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りいたします。

●ただしこの場合、私の苦痛を和らげるためには、麻薬などの適切な使用により十分な緩和医療を行ってください。

●私が回復不能な遷延性意識障害(持続的植物状態)に陥った時は生命維持措置を取りやめてください。

以上、私の宣言による要望を忠実に果たしてくださった方々に深く感謝申し上げるとともに、その方々が私の要望に従ってくださった行為一切の責任は私自身にあることを付記いたします。

リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終わりが近づいたら延命措置を望まないで、自然の摂理にゆだねて寿命を迎えるご自分の意思を表したりリビング・ウイル「尊厳死の宣言書」を発行、その普及に努めています。現在12万人近い方がリビング・ウイルを持ち、安心した日々を送っています。自然のまま寿命を迎えることは、最期の日々をよりよく生きることであり、今を健やかに生きることにつながります。お友だちやお知り合いに協会や「宣言書」のことをお伝えいただければと願っています。

事務局から

このたびの熊本地震により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧、復興を祈念しております。

●年会費について

- 新たに年会費の「口座自動引き落とし」制度ができ、ご希望の方に10月から実施されることになりました。会報7ページに手続きのご案内を載せました。
- これまで同様、コンビニや郵便局での振り込みも可能です。会報が緑色のビニール封筒で届いたら年会費の納入時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷してあります。
- この振込票には、会員の住所が省略されています。転居のご連絡以外は住所の記入は不要です。
- 振込手数料の安いコンビニ払いをお勧めしています。
- 年会費の振り込みを証明する領収書は、念のため1年間保存してください。

●会員番号について

- 協会への様々な問合せや連絡(住所変更、カード再発行、会費支払等)には、会員番号(会員証や宣言書コピーに記載)が必要です。予めお手元にご用意ください。

●退会の手続き

- 退会には会員の手続きが必要です。本部事務局までご連絡ください。会員がお亡くなりになった場合は、ご遺族からのご連絡をお待ちしています。

今号の1枚『大空を飛ぶ』



どこまでも高く
どこまでも遠く
不可能がなかった
あの日々をいま
掌で慈しむ私がいる
大自然の営みに
わが身をまかせて

被災地の一日も早い復興を祈るばかりです。
(白井)
●韓国初の「尊厳死法」を取材してきました。意見の違いを乗り越え、医師や市民団体、行政、国会議員らの熱意で立法にこぎつけたのです。台湾が17年前に法制化した時も同様だったと聞きます。インターネット時代ですが、やはり現地に足を運び、当事者から直に話を聞くことの大切さを改めて痛感しました。隣国の人はたちは日本の動向を注目しています。
(清水)

Living Will 目次

—会報2016年7月 No.162 —

- 02 インタビュー
ノンフィクション作家 澤地久枝さん
- 06 16年度事業計画・予算決まる
年会費自動振込のお知らせ
- 08 ●昨年度「医療相談」1,000件超す
- 09 ●全国LW発行団体連絡協、協会が設立目指す／自民党「尊厳死検討PT」が会合
- 10 「死の権利協会世界連合」
オランダ大会に参加して
理事長・岩尾總一郎
- 11 韓国も尊厳死を法制化
「ホスピス延命医療法」
2年後に施行
- 14 ●LWのひろば
- 16 ●支部活動 最前線
河合塾DVDに東海支部協力／
中国地方支部が初のLW研究会
- 17 ●支部活動 2016夏～秋
- 20 LW受容協力医師リスト／ご寄付
- 22 事務局から／編集後記／目次
- 23 尊厳死の宣言書／本部支部一覧
裏表紙 出版案内

協会会員:11万5788人
(2016年6月6日現在)

次号は、
2016年10月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。
引用、転載に関しましては当協会にご相談ください。

編集後記

●マスコミから尊厳死の取材を受けるとよく「あなたの死生観は?」と尋ねられます。問われても語るものなし。加齢とともに胸の内に膨らんでいたはずのものが、東日本大震災以来、しばんだままな震災以来、活断層列島で暮らす私たちは常に不測の事態にさらされています。いままた熊本